

各位

会社名 トレーダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(JASDAQ・コード 8704)
問合せ先 取締役 新妻 正幸
(TEL 03-4330-4700 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、第2四半期累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の業績動向等を踏まえ、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 連結業績予想値の修正

(1) 平成26年3月期の連結業績予想修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,200	310	270	230	5円18銭
今回修正予想 (B)	2,900	100	40	10	0円20銭
増減額 (B-A)	△300	△210	△230	△220	—
増減率 (%)	△9.4%	△67.7%	△85.2%	△95.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	2,761	284	216	229	5円16銭

(注) 当社は平成25年5月27日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

<修正の理由>

営業収益は、従来予想3,200百万円から300百万円下方修正し、2,900百万円（対前期比138百万円増加）となる見込みです。これは主に、第2四半期までの実績において、トレーダーズ証券における外国為替証拠金取引『みんなのFX』の営業収益が、低スプレッドでの顧客提供に対してカバー取引のヘッジコストが相場変動により高くなったため、取引単位当たりの収益単価が減少したことに加え、期初の計画において平成25年9月から新しい取引システムによる外国為替証拠金取引サービスの開始を予定しておりましたが、開始時期が遅れる見通しとなったことから、当期の収益見込みの引き下げを行ったことによります。また、平成25年11月から提供する予定の新取引規制に対応したバイナリーオプション取引サービス『みんなのバイナリー』の今後の取引量の見通しが難しく不確実性が高いため、同サービスの収益見込みの引き下げを行いました。

営業利益は、第2四半期累計期間において、営業収益が計画を下回ったことに加え、外国為替取引のレベニューシェアによるシステム利用料がかさんだこと、その他一般管理費が見込額を超過したことから、従来予想を約100百万円程度下回る結果となり、また第3四半期以降に関しては、上述の新

サービス開始時期のリスケジュールに伴う広告宣伝費、システム関係費等の減少は見込めるものの、新サービスの費用が先行し当期中に利益転換まで見込むことは難しいことから、通期の営業利益は従来予想310百万円から210百万円下方修正し、100百万円（対前期比184百万円減少）となる見込みです。

経常利益は、第2四半期累計期間の転換社債型新株予約権付社債の発行に伴う資金調達費用及び借入金の支払利息等の営業外費用が期初の見込みを約20百万円上回ったことにより、従来予想を230百万円下回る40百万円（対前期比176百万円減少）となる見込みです。

当期純利益は、第2四半期累計期間において、『みんなの365』の取扱を中止したため、期初の計画では見込んでいなかった事業整理損41百万円を特別損失として計上したことから、従来予想を220百万円下回る10百万円（対前期比 219百万円減少）となる見込みです。

以上

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。